

調査日：2019年3月15日、4月23日、5月23日(9:00~12:00)

科名	和名	3月	4月	5月
カモ科	オカヨシガモ	5		
	ヒドリガモ	245	5	
	マガモ	75		
	カルガモ	182	19	20
	コガモ	133	107	
	ホシハジロ	22	1	
カイツブリ科	カイツブリ	21	38	23
	カンムリカイツブリ	61	1	
	ハジロカイツブリ	3		
ウ科	カワウ	555	128	90
サギ科	アオサギ	12	10	6
	ダイサギ	8	5	2
	コサギ	2	10	
クイナ科	バン	1	3	
	オオバン	121	39	14
チドリ科	コチドリ	1		2
シギ科	イソシギ		1	
カモメ科	ユリカモメ	18	4	
	セグロカモメ	8		
	ニシセグロカモメ	1		
ミサゴ科	ミサゴ	1		1
タカ科	トビ			2
カワセミ科	カワセミ	5	5	
カラス科	ハシボソガラス	5	1	
セキレイ科	ハクセキレイ	1	1	
外来種	コブハクチョウ	61	46	53
13科	25種	1486	378	160

合計は外来種を除いたもの



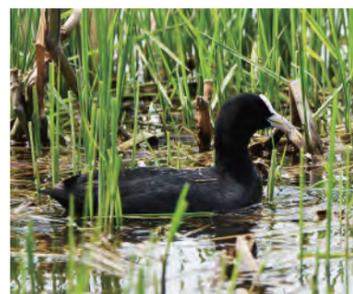
飛び立つカワウの群れ (3月)



求愛のディスプレイをするコガモ (3月)



巣材の泥を集めるツバメ (4月)



マコモを食べるオオバン (4月)



コブハクチョウの親子 (5月)



さえざるオオヨシキリ (5月)

写真は調査区外で撮られたものもあります

あびこ鳥だより

Summer
2019
【夏号】

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.55



利用案内

- 開館時間 午前9時30分~午後4時30分
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、館内整理日、年末年始(12/29~1/4)

	区分	個人	団体
入館料 (当日有効)	一般	300円	240円
	高校生・大学生	200円	160円
3館共通入館料 (1か月有効)*	一般	600円	
	高校生・大学生	400円	

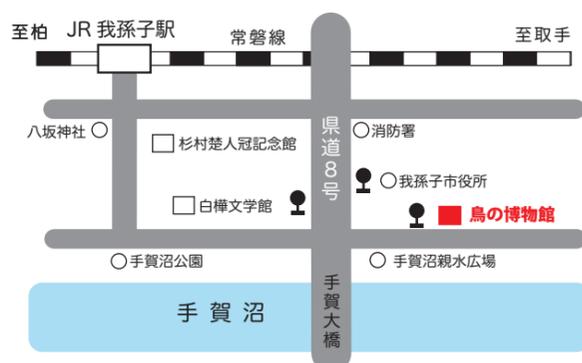
- ・入館料免除の方①70歳以上の方 ②障害者手帳等をお持ちの方(付き添い1名含む)
- ・中学生以下の方は入館無料
- *白樺文学館、杉村楚人冠記念館との共通券

●お問い合わせ：我孫子市鳥の博物館
〒270-1145 千葉県我孫子市高野山234-3
☎:04-7185-2212 FAX:04-7185-0639



交通案内

JR 我孫子駅南口バス停より市役所経由
バスで「市役所」下車、徒歩5分
*毎週土日祝日は博物館経由のバスが運行しています
我孫子駅南口バス停より、天王台行きバスで「鳥の博物館前」下車
天王台駅南口バス停より、我孫子駅行きバスで「鳥の博物館前」下車
自動車利用の方は地図をご覧ください(駐車場無料/大型バス駐車可)



【特集】

我孫子市におけるイソヒヨドリの営巣場所と食性

【最新情報】

新しい企画展「世界からみた日本の鳥」がはじまりました
夏休みイベント「夏の遊びと研究大集合2019」のお知らせ
新商品「鳥博オリジナルドリップコーヒー」発売中!

表紙の鳥 ミゾゴイ

我孫子市内におけるイソヒヨドリの営巣場所と食性

イソヒヨドリ(写真1)は岩礁海岸に生息するヒタキ科の鳥で、ムクドリくらい大きさです。主にフナムシやカニ類を食べ、崖の岩の上や岩の隙間、岩場の低木の中などに営巣します。一夫一妻で1年に1~2回繁殖します。ヒナへの給餌は雌雄ともに行います(伊澤・松井 2011)。

しかし、海岸を生息地としていたこの鳥が、近年では海から数10キロも離れた内陸部の都市でも確認されています。関東地方では、1985年に埼玉県入間市で繁殖が確認された記録があり(川内 1997)、その後、分布を拡大していると考えられています。

我孫子市は最寄りの海岸から約21km離れていますが、2000年に初めて姿が見られ(手賀沼の鳥II編纂委員会 2004)、2016年には初めて繁殖が確認されました(木村稔 私信)。市街地にイソヒヨドリが進出した理由を解明するため、私は2017年より3年間、我孫子市内での営巣場所と食性を調査しました。

これまで2017年に2巣、2018年に3巣、2019年に2巣を確認することができました。巣があったのは、いずれもJR常磐線の我孫子駅前、ビルの壁とダクトとの間が6例、屋根の端に取り付けられた金属製の覆いの中が2例、金属製のフードに覆われた排気口の中が1例でした(写真2)。

イソヒヨドリの親鳥が巣に運んでくるエサの内容を、同じ巣で2年続けて記録したところ、それぞれ758回と608回のエサ運びを記録することができました。その中で回数が多かったエサは、小型の昆虫(写真3;アリやゴキブリなど)、昆虫の幼虫(写真4;ガやチョウ、甲虫、ハチなど)、ムカデ(写真5)でした。ムカデについては、市街地ではあまり見かけませんが、追跡してみたところ、線路に降りて砂利の隙間から引っ張り出している様子を観察することができました。



写真1. イソヒヨドリ(オス)



写真2. イソヒヨドリが営巣していたビルの間



写真3. 巣に運ばれてきたアリ

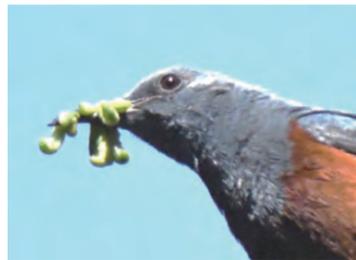


写真4. 巣に運ばれてきた昆虫の幼虫



写真5. 巣に運ばれてきたムカデ

都市にはコンクリートの頑丈な建物が多く、さらに人が管理しているため、台風などが来ても環境が大きく変わることはあまりなく、安定しているという特徴があります(三上 2015)。しかし、そこには人間社会の変化が反映され、都市の風景は時代と共に変化します。たとえばマンションのような高層建築が建った後、都市では繁殖していなかったはずのヒヨドリがベランダの観葉植物に営巣するなど、鳥にも変化が見られるようになります(唐沢 1987)。イソヒヨドリについても、人工物を営巣場所や餌場にしており、彼らの都市進出には都市のどのような変化が関係しているのか興味深いところです。しかし、それを明らかにするためには、我孫子市以外からも多くの事例を蓄積する必要があり、今後は彼らの営巣場所についても、もっとデータを増やしたいと考えています。最後に、我孫子市内でのイソヒヨドリの繁殖に関する情報を下さいました木村稔氏に御礼を申し上げます。

引用文献 伊澤雅子・松井晋. 2011.イソヒヨドリ Bird Research News 8(8):4-5.
唐沢孝一. 1987. マン・ウォッチングする都会の鳥たち. 草思社, 東京.
三上修. 2015. 身近な鳥の生活図鑑. ちくま書房, 東京.
手賀沼の鳥II編纂委員会. 2004. 手賀沼の鳥II 30年間の変遷. 我孫子野鳥を守る会, 我孫子市.

新しい企画展「世界からみた日本の鳥」がはじまりました

世界から見ると、私たちが住む日本列島は、地球の陸域面積の1%にも届きません。しかし、大陸から隔離された環境であるため、そこにすみついた鳥たちが独自の進化を遂げ、多くの固有種をはぐくんできました。今回の企画展では、日本とその周辺にしか分布しない鳥を取り上げ、海外から訪れる皆さんに喜んでもらえるような、“日本らしい鳥”を紹介します。

日本の固有種8種の標本(メグロは9月から展示予定)を展示するほか、日本でしか繁殖しない鳥(繁殖固有種)と、日本とその周辺にしか分布しない鳥たちも展示します。

開催期間：2019年7月13日(土)~11月23日(日)



日本の固有種8種

「夏の遊びと研究大集合2019」のお知らせ

毎年恒例の「夏の遊びと研究大集合2019」が始まります(8/3~9/1の土日祝日)。夏休みの自由研究のヒントになるようなイベントが盛りだくさんです。毎回内容が変わります(右表)。詳しくは鳥の博物館ウェブサイトをご覧ください。

また、夏休み期間中は自由研究の参考になるように、昨年度の小・中学生の鳥に関する研究作品を1階ホールに展示しています(7/20~9/1)。鳥に関する自由研究の質問や相談も受け付けています。今年の自由研究は鳥をテーマにしたい方は、ぜひご来館ください。

日時	タイトル
8月3日(土)	恐竜時代の化石発掘たいけん
8月4日(日)	ダチョウの全身骨格を組み立てよう
8月10日(土)	ブーブーカモ笛
8月11日(日)	メダカでアクアリウム
8月12日(月・祝)	ゴーストミミズク
8月17日(土)	最強の動物!クマムシを探せ
8月18日(日)	ブーブーカモ笛
8月24日(土)	ふくろうホバークラフト
8月25日(日)	ゴーストミミズク
8月31日(土)	ダチョウの全身骨格を組み立てよう
9月1日(日)	くるくるトリコプター

イベントの日程表

新商品「鳥博オリジナルドリッコーヒー」発売中!

鳥の博物館のオリジナルパッケージのドリッコーヒーができました。フクロウ、オオバン、カルガモのイラストがプリントされていて、それぞれ豆の種類が違います。3つセットで250円(税込)です。博物館2階ミュージアムショップで販売しています(ショップのみのご利用の方は無料で入館いただけます)。



イベント情報

- 展示
 - 第84回企画展「世界からみた日本の鳥」
期間：7月13日(土)~11月24日(日)
場所：博物館2階企画展示室
 - 自然観察会
 - てがたん~自然観察会~
日時：毎月第2土曜日 10:00~12:00 (雨天中止)
8月のテーマ「外来種ってどんな生きもの?」
9月のテーマ「虫を狙う生きものたち」
定員：なし
集合場所：博物館入口 (予約不要)

- 講演・室内イベント
 - テーマトーク
日時：毎月第3土曜日 13:30~14:15
8月のテーマ「鳥類標本の作り方ーいろんな標本を作ってみようー」
講師：岩見恭子さん(山階鳥類研究所自然誌研究室研究員)
9月のテーマトークはお休みです
場所：博物館2階多目的ホール
定員：先着50人(参加無料)
講師：山階鳥類研究所所員

2019年7月~9月

自然観察会は高校生以上の方は保険料100円がかかります
館内で行うイベントは参加無料でも入館料が必要です